

研究利益相反審査委員会・倫理審査委員会議事録

I 日 時 令和4年12月15日(木) 14時00分～14時35分

II 場 所 大会議室

III 出席者 副院長、診療部長、臨床研究部長、放射線科医長、
清水弘前大学名誉教授(外部委員)、看護部長、薬剤科長、
管理課長、経営企画室長

欠席者 中村養護学校長(外部委員)、事務部長、企画課長

IV 議 題

4-11 COVID-19 罹患筋ジストロフィー患者実態調査

院 長 高田 博仁

4-12 看護学生に対する筋ジストロフィー患者実習に関するアンケート調査

院 長 高田 博仁

4-13 筋強直性ジストロフィー患者に対する嚥下体操の効果

看護部南2病棟 看護師 小原 真佳

V 概 要

- ・ 倫理審査申請のあった課題について研究利益相反報告書及び研究内容から、利益相反はないと思われる。
→ 一同異議なし。

V 概 要

4-11 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 東京女子医科大学の研究対象者が2019年12月から2022年10月の間となっているが、新しく参加した病院は病院の倫理審査委員会で承認を受けたまでの期間となっている。
- ・ 昨日までの段階で、当院を受診している患者でCOVID-19に感染している患者は7名のため、後追いしても可能な人数である。
《 委員会の審査結果→承認 》

4-12 の課題について

- ・ 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- ・ 筋ジス病棟へ実習に入る看護学生は、弘前医療福祉大学、弘前学院大学、弘前医

療センター附属看護学校である。

- アンケートの中の「2. 筋ジストロフィーの患者にどのようなイメージを持っていますか？」の選択肢は、実習後のレポートの中にキーワードとして良く出てくる言葉が並べられている。

《 委員会の審査結果→承認 》

4-13 の課題について

- 申請者から別紙倫理審査申請書により内容説明。
- 同意に関しては、会話のできる患者を対象とし、患者自身が署名は記入できないので看護部以外の指導室職員入ってもらい、代諾署名してもらおう。同意書の代諾者署名（続柄）を（指導室）に変更する。

《 委員会の審査結果→条件承認 》

以 上